



東俣野 1月号

東俣野小学校 学校だより 令和6年1月9日

“目標をもって”

校長 幸保 陽子

令和6年1月1日に発生しました令和6年能登半島地震で亡くなられた方に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々ならびにご家族、ご親族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

2024年、新しい年を迎えました。昨年は保護者の皆様、地域の皆様には本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましてありがとうございました。

年の初めは、自分の目標をもつよいタイミングです。目標をもつことの大切さは、いくつか考えられます。

- ①目標をもつことで、進むべき道が見えるようになる。
- ②目標から逆算して考えることにより、今やることが明確になる。
- ③目標をもって一つずつクリアすることで達成感を得ることができる。
- ④目標をもつことで前に進む力が強くなる。
- ⑤時間の使い方も考えるようになるため、効率よく、有意義な時間の使い方ができるようになる。
- ⑥目標に向かって行動ができるので、集中力や忍耐力も身につく、向上心も高めることができる。

目標をもつことは、自分について深く考える機会にもなるのではないのでしょうか。人それぞれ違う目標に向かって前に進んでいます。掲げた目標はそれ自体が個性になり、一つずつ実現していくことで、自分の個性を強化していくこととなります。また、目標が実現できなかった時は、もう一度今の自分を見つめなおして考えることができるようになります。

子どもたちは、学校で様々な活動や体験をします。東俣野小では、活動や体験をする前にまずは、子どもたち一人ひとりが、「〇〇ができるようになりたい」、「〇〇をやってみたい」と個に応じた目標をもつことを大切にしています。そして「目標をもち、計画を立て、実行して、振り返る」という一連の体験を数多く積み重ね、子供たちの心の成長につなげていきたいと思えます。

教職員一同、子どもたちが自分なりの目標をもち、努力していく姿を支え、励まし、応援するとともに、「できた」「わかった」という達成感と喜びをいっぱい味わうことができるよう努めてまいります。

今年も本校教育活動へのご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。